

犬山市フューチャーセッション SEASON4

FUTURE SESSION @INUYAMA



犬山市フューチャーセッション 2020～ >>> 犬山を舞台に何かやってみたいと、集まったメンバーが自由に語り合い、対話から新たな価値を生み出す「創造的な語り場」です。今年度SEASON 4は、初オンライン開催！テーマは「新しい犬山★始まる」です。お楽しみに！

ミッションを考える

2/20
SAT

プログラム

1. はじめに
2. 基本ルール説明・自己紹介
3. グループディスカッション 1
4. グループディスカッション 2
5. ハーベスト・振り返り
6. フリー交流会

Zoomを使用したオンラインでの開催。今回のテーマは「ミッションを考える」。フューチャーセッションでは果たすべき行動指針と意味づけました。Vol. 3から続いているテーマは3つ。それぞれのテーマについて描いた「ビジョン」を実現するために、どんな行動や活動をしたらいいのかを各グループで具体的に考えました。立場の違う参加者たちが実現のためにセッションし、とても有意義な時間となりました。意見やアイデアは発表者によりまとめられ、全ての参加者に共有されました。当日は、スタッフ含め20名が集いました。

1

テーマの説明 参加者全員に向けて、いぬくら担当ファシリテーターから各テーマのビジョン説明を受けた後、自分が入りたいセッションルームを選んで入室しました。



A 人がバリアフリーにする町

ビジョン

人と人が心で繋がる「心のバリアフリー」は、お互いにコミュニケーションを取り合うことが重要。出会う場を数多く生み出し、「人によるバリアフリー」が広がる町を目指す。

B 犬山震信源地化計画

ビジョン

新しい経済活動・文化活動の中心地となり、犬山発の新しい波を生み出していく・観光産業の集客力を起点とした移住者増加施策により、住民生活の質的向上を促進し、観光産業と住民生活の共存を図る。

C お帰りなさいが似合う町

ビジョン

暮らしたり、楽しんだり、活躍したりできる犬山は市外からの関心を高める。人が関わりやすい町にする。未来を担う仕組みを考え、子育てしやすい町を目指す。移住する人、関わる人をたくさん増やす。

2 グループセッション

前半は、テーマについて共有し、より多くのミッションを出し合います。後半は、ミッションを組み合わせたり、絞り込んだりして発表用に意見を整理しました。



アイスブレイクで心をほぐす

□□さん、あなたの好きな〇〇は？

私は〇〇が好き、□□さん、あなたの好きな〇〇は？

続けて
どんどん



A 人がバリアフリーにする町

WORD

- 人と人に垣根がある
- 古くからの人と新しい人が馴染めない
- 色々な人が交流する場がない
- 町内会 ミラマチ栗栖 栗栖がいい例かも？
- 町内会とは別の組織として関わりやすかった
- どう動いていいかわからない
- きっかけ、一緒にやることで、動くことができる
- 知っていれば助ける 誰もいなければ助ける
- 何をやっても動かない場合もある
- 盲目的人に対して、指名されれば助ける
- 誰かファシリテートする人が居れば動ける
- お互い知り合いになる

発表

Presentation

人と人の間には心の垣根がある。新たな人と元々居たとの間に心の垣根があると感じる。(垣根を感じさせない)一例として栗栖地区には、町内会と別にミラマチ栗栖という団体がある。住民以外の人たちの参加を受け入れる体制がある。地域コミュニティが発達し発展していることが栗栖の良いところといえる。

実際困っている人がいた時に、助けてあげられるかどうか。知人ならば問題ないが、関りのない人の場合、自発的に動くことは難しい。動きをファシリテートする人が居れば動けるし、動くきっかけがあれば共に活動できる。この様なことが、人がバリアフリーにする犬山を作ることに必要ではないかという話となった。



B 犬山信源地化計画

WORD

【あなたの考える文化的な暮らしとは？】

- 歴史を感じられる ●自然観察 ●同好の士が集う
- 金を稼ぐためではなく、楽しみなことがある
- 【自発性に任せるべき】
- 自発性以前に知らない人も多い
- 自発性を邪魔しない企画力
- 地元の人が地元を知り、地元で遊ぶためのツアー
- 犬山で遊ぼうツアー(着物で城下町を歩く、自然薯掘り、犬山城ガイド付きツアー、星を見るなど)
- 【これが増えていくには】
- リーダー的な人の存在
- 仕掛ける人を募集する
- やっていいという雰囲気づくり
- 子どもの集まり、親同士が仲良くなるきっかけ

ひとりひとりがバリアフリーな対応をし
多様性を受け入れる

特別だと思っていた
ことが、なんでもない
日常にあること

文化的な暮らしとは？歴史を感じる生活、自由に自然観察できる事、と人それぞれ。犬山で色々な感覚が楽しめ、自分自身が楽しいと感じることが重要。時には自身が知らない情報もある。色々な考えをシェア出来ない事がもったいない。そこで「犬山で遊ぼうツアー」があったら面白いのではないか。

実際にフューチャーセッションのメンバーでツアーを企画し、リーダーを決め、参加者を募る。犬山の人も参加することで地元の楽しさを知り文化が生まれる。良い雰囲気の企画を浸透させれば続く活動も始まると思う。集うきっかけには子どもを通じて親が繋がることも良いのではないかという話となつた。



C お帰りなさいが似合う町

WORD

- 近所に銭湯がない
- 銭湯のリノベーション…若い世代を引き込む
- 何かと掛け合わせる ●お金がかかる
- 銭湯＆ビール醸造(東京) ●閉店した店を利用
- 音楽会 ●美術館
- 災害時に行ける銭湯がない(みんな可児に行く)
- 外国人観光客
- 外国人…ホームステイ(一般家庭に)普通通り7日間
- 身内に障害者
- 障がい者スポーツ(アンブティ[切断]サッカー・杖を使う)を通して支援、相互理解を深める
- 活躍の場、継続で行う→交流を深める→雇用

いらっしゃいませ
ではなく、お帰りな
さい(また来てね)

前回はオンライン授業の話が出たが、そのほかに人と繋がりやすい場所を考えた。気軽にコミュニケーションが取れる場所は銭湯だが、犬山ではない。各地では銭湯をリノベーションし、様々な企画が行われている。バックパッカーが訪れた際に案内すると、すぐに繋がりができる魅力的な場所。

次に外国人に快適な目線は何か？という話題に。ホームステイで一般家庭の食事をいただくことで、ありのままの日本人の生活体験ができ、地元に早く溶け込むきっかけになる。

最後に、障害者が住みやすい町を考えた。障害者スポーツの内容によっては受入れを拒む会場もある。様々な障害者スポーツを受入れ活躍の場を増やし、スポーツを通して地元の人と障害者を繋ぐアイデアが生まれた。オンライン授業の企画に、外国人や障害者も先生として参加してもらえるきっかけが生まれるのではないかという話となつた。



3

フリー交流会

魅力的なミッションが生まれ、
交流タイムでも楽しく語り合いました。
次回は今年度最後のフューチャーセッション、時間
を拡大し開催です！お楽しみに！



犬山市松本町四丁目21番地
(犬山市民交流センターフロイデ内)

TEL 0568-48-1221

MAIL info@inuyama-plaza.com

URL inuyama-plaza.com